

Case4 (2021.1.18 報告)

80代 女性

主訴: 下腿のむくみと痛み

診断名: 心臓弁膜症

関わった医療機関(施設): 循環器科、鍼灸院

むくみを主訴として鍼灸院に来院されたが、改善がみられず酸素飽和度も低下していたため循環器科受診を勧め、心臓弁膜症の診断を得た症例。

寸評: むくみを主訴として鍼灸院を訪れる患者は少なくない。老若男女、程度の差はあるが訴えとして多い印象である。本症例では、その中に重大な疾患を示唆している可能性があることを改めて経験した。医師からの意見として、心臓、腎臓、肝臓、代謝系、膠原病とむくみから疑われる疾病は多くあるので留意して施術にあたるのが望ましいとの事であった。また、血圧・脈拍・体温・血中酸素濃度など、鍼灸師でも計測できるバイタルサインをとる習慣を、という意見もあった。